

第 8 回海部会WGの話し合いのポイント

■第 8 回海部会WGの目的

- メンバー同士の活動の情報を共有し、海部会で参画できる活動を探す
 - メンバーの活動内容について
- 第 2 回全体会議で示された「海部会の今年度の活動計画」について検討する
 - 今後の検討体制について
 - 年間計画について
- ゴミ・流木調査計画（案）の実施方針を検討する
 - 目的の共有について
 - プレ調査について

■共有事項：メンバー自己紹介：30 分

自己紹介のポイント

- 所属と主な活動内容について
- 行っている活動のうち、海部会メンバーにも参加してもらいたい活動
- 今後の海部会の活動についてアイデアなど
- その他情報提供など

■検討事項 1：今年度の活動計画について（資料 2）：説明 10 分、意見交換 30 分

(1) 今後の検討体制について

これまでの検討状況

- 参加メンバーが少ないことから、他の部会と異なり、各テーマについての主担当（コアメンバー）が決まっていない。
- ただし、検討の熟度が低いことから参加者全員ですべてに検討していくスタンスも考えられることから、そのスタンスを決めることが必要。

検討のポイント

- 今後の検討体制として、4つのテーマについて、コアメンバーを決めて検討していくか、参加者全員で検討していくかを話し合う。

(2) 今年度の活動計画について

これまでの検討状況

- 大枠の年間計画としては、今回を年間計画検討にあてている以外は、6回分で何を検討するかが決まっていない。
- その一方で、ごみ・流木調査とその他3つのテーマの検討熟度が大きく異なることから、ごみ・流木調査を主体とした活動が必要となる。
- また、現場中心の活動を行っていくことで、海へのさらなる理解とメンバー同士の理解促進を促すことも必要。

検討のポイント

- 来月（6月）から6回分で何をするか。
- 4つのテーマのうち、ごみ・流木調査を主体として活動していく方向性でよいか。
- 今年度の活動計画について具体的内容と日程を話し合う。

《今年度の活動計画（案）》

時期	内容	日程（予定）
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

《ごみ・流木調査を主体とした場合の活動計画（例）》

時期	内容	日程（予定）
6月	ごみ・流木調査の準備	
7月	干潟の現地観察会（あるいはメンバーの活動への参画）	
8月	ごみ・流木調査のプレ調査実施	
9月～10月	出水時調査（他部会メンバーへの参加をうながす）	
11月	ごみ調査のとりまとめ	
12月	今年度の反省と来年度の活動企画	

■検討事項 2 : ゴミ・流木調査の実施方針について (資料 3) : 説明 10 分、意見交換 30 分

(1) 目的の共有について

検討のポイント

- 目的の共有と調査自体への参加意向を確認する。

(2) プレ調査について

検討のポイント

①どこで実施するか

- 調査場所の選定をどうするのか

②いつ調査を行うのか

- 調査日の設定とその周知の方法をどうするのか

③誰が行うのか

- 調査は、管理者が単独で行うのか、市民と共同で行うのか

④どのように行うのか

- 調査票で示した調査は可能かどうか
- ごみの調査だけで回収はするのか
- (回収する場合) 回収したごみの処分は誰がするのか

⑤とりまとめは誰が行うのか

- 集計は参加メンバーで行うのか
- 調査の活用方法として考えられるものは何か